学校番号	305

令和８年度　(学)人文ステップアップ

教科	人文ステップアップ	科目	(学) 日本史特別講座	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	詳説　日本史（山川出版社）						
副教材等	図説　日本史通覧（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の「歴史総合」の学習をより深め、また、「日本史探究」の学習の補完の内容を行います。日本史の「文化」「経済」「外交」などの各テーマに対する大きな歴史の流れをつかむための知識を身につけ、その知識を利用する思考力・判断力を身につけることをめざします。歴史総合同様、物事の流れとつながりを把握し、様々な社会の事象に対して「なぜ」と問いかけながら授業を受けましょう。問題演習や小テストなど、様々な観点での評価やワークも実施します。主体的に学習に取り組みながら、日本という国の成り立ちや制度を理解していきましょう。

2　学習の到達目標

① 「文化」「経済」「外交」などの各テーマ史を通して、日本の国としての成り立ちや中国や東アジア各国・欧米各国との国際的なつながりに基づいて現代日本が形成させていることを理解する。また、各時代の文化や経済などがどのように違うのかということを比較して考察する。
② 我々が生活する現代社会の諸問題について、近現代史を通して考え、知識として歴史的事象を捕えることができる。また、定着させた様々な知識をグループワークや個人ワーク、配信による課題を通して、自分だけでなく他者に正確に共有し、知識の深化を行うことができている。
③ 学習した内容に関しての問題演習を行い、近現代史の知識やテーマ史の知識理解を行うことができる。また、自らの設定した課題に対しての問題の作成や講座内の他者に対して、テーマごとに模擬授業などを行い、正確な情報を伝えることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各テーマや近現代史の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。また、歴史史料や写真などの諸資料から、要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	各テーマや近現代史の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し活用して、多面的・多角的に考察し、判断し、正確な情報を他者と共有する。また、発表などを通じて、自らの思考を言葉として表現する。	現代社会につながる歴史上の諸課題を積極的に知り、その解決のために国の時代別の考え方・テーマ・他国とのつながりに関心を持ちながら主体的に課題解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	国際社会の中の日本	第一次世界大戦後の世界と日本 ・戦間期の平和と日本の成長 恐慌の時代(明治・昭和の日本の経済状況を受けて) ・大戦景気・戦後恐慌 ・金融恐慌と震災恐慌 ・世界恐慌と昭和恐慌 第二次世界大戦と日本 ・世界の中での日本の置かれた立場と第二次世界大戦 第二次世界大戦後の日本とその成長	a:第一次世界大戦以降の世界の情勢と日本の成長と減退について理解している。また、歴史的事象からから、国際的に日本のおかれた第二次世界大戦に向けての課題の設定と解決に向けての考察、構想する際に必要な情報を歴史史料や資料・写真などから適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身につけている。 b:世界の中の日本の立ち位置や周辺諸国、欧米各国との関係、距離感や国際政治体制のあり方や困難などについて、多面的・多角的に考察・判断し表現できる。 また、自ら日本の近現代史の課題を設定し、解決していくための考察力、想像力、表現力の定着を図る事ができる。 c:日本と各国のつながり、立場の設定から、現代の日本の諸課題につながる問題点を探究し、その解決に向けて積極的にかかわろうとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・配信思考課題 ・グループワーク ・史料読解問題	・授業ワークシート ・グループワーク成果物(スライド・プリントなど) ・配信課題

2学期	テーマ史（文化・外交・経済 その他）	日本文化史 ・古代仏教文化 ・中世（鎌倉・室町・安土桃山文化） ・近世（江戸時代の各文化） ・近代文化 日本経済史 ・貨幣と税の仕組み ・日本と貿易 ・金融・景気・強硬 ・日本の産業革命 日本外交史 ・中国・東アジアと日本 ・ヨーロッパと日本 ・アメリカと日本 ・時代の転換点と外交 その他 ・考古学分野	a：各テーマに沿った設定された課題に対して、必要な情報の収集を行い、解決策を検討する。また、テーマごとの諸事情を鑑みながら、検討した解決策を無理なく深化させ、歴史的な課題や過去の失敗、成功例を読み取り、先の日本の社会につながる考え方を創造するための技能を身につける。 b：テーマごとの歴史的事象が現在の社会に深くかかわっていることを理解し、そこにあるべき政治・経済・外交などのしくみや将来の日本の在り方について、多角的・多面的に考察し、表現できる。 c：日本の各テーマに関する諸事情を積極的に収集し、現代の諸課題の解決や、将来の日本の在り方・生き方に積極的にかかわろうとしている。	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・配信思考課題 ・グループワーク ・史料読解問題	・授業ワークシート ・グループワーク成果物（スライド・プリントなど） ・配信課題
3学期	歴史史料・資料の読み取りと問題演習	歴史史料の読み取り 歴史資料（写真・データ・絵画など）の読み取り 日本史問題演習	a：日本史にかかわる史料や資料を読み取り、内容を理解し、自らの考え方を踏まえて考察している。 b：歴史的な史料や資料から過去の日本の情勢や環境を考え、それを現代につながる諸問題に当てはめながら自己の生き方、社会のあり方を多面的・多角的に考察している。 c：史料の読解や資料の読み取りを通じて、自己の思索を深める手掛かりにしようとしている。	・定期考査 ・問題演習課題	・定期考査 ・問題演習課題 ・配信課題	・授業ワークシート ・配信課題 ・ペアワーク・個人ワークへの参加姿勢 ・ワーク成果物

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度